

## 八学大、光星高中心

# 女子サッカークラブ発足



## なでしこリーグ参入視野

八学大や八学光星高の女子サッカー部員を中心とするクラブチームが今月発足した。当方は東北女子サッカーリーグを中心に活動し、将来的には国内女子トップリーグ・なでしこリーグへの参入を視野に入れる。畑中孝太監督らが23日、八戸市庁を訪れ、小林眞市長に報告。主将の横濱菜奈(21)は「協力しながらいいチームにしたい」と意気込みを示した。

八学大女子サッカー部が2018年度、東北リーグで初代女王となったことや4年連続でインカレ出場を果たした実績を踏まえ、クラブチームを新設した。小林眞市長(中央)に活躍を誓うクラブチームの関係者23日、八戸市

ンバーは同大の17人の他、今月設立された光星高女子サッカー部の4人、サッカー経験のある社会人3人が加わる。おいらせ町出身で、プロクラブのスペランツァ大阪高槻で16年までGKを務めた村岡愛実さん(25)がコーチに就任した。

クラブは当面、八学大サッカー部としての活動が中心となるが、今後、幅広い年齢の選手層とし、競技力向上などに努めながら、地域名を冠したクラブへと移行する方針だ。

市庁での懇談で、畑中監督は「このチームを通して女子サッカーの面白さを発信したい」と抱負。小林市長は「八戸のために頑張ってほしい」と激励した。

村岡コーチは取材に「プロクラブで得た経験を生かし、地元青森県の女子サッカーを盛り上げたい」と話していた。

(上村公悟)